



KAGAWA
UNIVERSITY

国立大学法人香川大学

2018年3月12日



PRESS RELEASE

障がいの有無によらず共に学ぶための ICT 利活用

「ともに学ぶプロジェクト」が「IAUD アワード 2017」で金賞を受賞

国立大学法人香川大学（所在地：香川県高松市、学長：笥 善行、以下、香川大 学）は、障がいの有無によらず共に学ぶための ICT 利活用の産学官共創での取り組み「ともに学ぶプロジェクト」において、「IAUD アワード 2017」（主催：国際ユニヴァーサルデザイン協議会）の金賞を、香川県教育委員会（所在地：香川県高松市、教育長：工代祐司）、小豆島町教育委員会（所在地：香川県小豆郡、教育長：後藤巧）、富士通株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：田中達也、以下 富士通）と富士通デザイン株式会社（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：上田義弘）と共に受賞しました。表彰式は3月9日にドイツミュンヘンで行われました。

「ともに学ぶプロジェクト」は、社会課題である共生社会の形成に向け文部科学省が推進する、児童生徒が障がいの有無にかかわらず共に学べるインクルーシブ教育システムの構築に向け、ICT を利活用する香川大学と富士通の産学共同研究です。香川県教育委員会、小豆島町教育委員会の協力を得て、特別支援学校と小学校を合わせた計6校にて、インクルーシブ教育システム構築の基礎となる環境整備や一人ひとりの障がい特性に応じた合理的配慮の提供にあたって有効な ICT 利活用モデルの開発を狙いとした実証実験を実施してきました。実証実験を通じて、発達障がい等により感情表現や意思伝達に困難があり、クラスでの授業参加が難しかった生徒が、コミュニケーションを支援するソフトを使用することにより感情表現とともに感情制御が可能となり他の生徒とともに授業参加が可能となった事例や、上肢の障がいにより書字に困難がある生徒がタブレット PC を活用することで書字の困難を解決し、大学進学目標を新たに持つまでに学ぶ意欲が向上するなどの効果を得ることができました。今回、これらの「ともに学ぶプロジェクト」の取り組みや成果が評価され、「IAUD アワード 2017」の金賞を受賞しました。

【注釈】

（注1）：IAUD アワード

「ユニヴァーサルデザイン（UD）の更なる普及と実現を通して、社会の健全な発展に貢献し、人類全体の福祉向上に寄与すること」を基本理念とする国際ユニヴァーサルデザイン協議会（IAUD）の活動の一環として、民族、文化、慣習、国籍、性別、年齢、能力などの違いにかかわらず、“一人でも多くの方が快適で暮らしやすい” UD 社会の実現に向けて、特に顕著な活動の実践や提案を行なっている団体・個人を表彰するもの。

（注2）：国際ユニヴァーサルデザイン協議会（IAUD）

ユニヴァーサルデザインのさらなる普及と実現を通して、社会の健全な発展とくらし創りを目指す活動体として2003年11月に設立された協議会

【関連リンク】

子どもたちの本音を引き出すICT機器を利用した教育支援ソフト「気持ち日記」を開発（かがアド27号）

https://www.kagawa-u.ac.jp/files/6415/1442/3705/next_innovation.pdf

特別支援教育での ICT 利活用の共同研究「ともに学ぶプロジェクト」を開始：富士通

<http://pr.fujitsu.com/jp/news/2016/01/7-1.html>

・インクルーシブ教育に向けた ICT 利活用の 2 回目の実証を新たに小学校で開始：富士通

<http://pr.fujitsu.com/jp/news/2016/09/30.html>

・特別支援教育の子どもたちが「ともに学べる」環境の実現へ向けて：FUJITSU JOURNAL（富士通ジャーナル）

<http://journal.jp.fujitsu.com/2016/02/10/01/>

以 上

《本件に関するお問い合わせ先》

香川大学 教育学部 坂井研究室 宮崎研究室

電話：087-832-1551（直通）

受付時間：9時～17時00分（土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く）